2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	オーウエル株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7670	URL	https://www.owell.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	川戸 康晴
問合せ先責任者	（役職名） 執行役員	（氏名）	山田 麻紀子　(TEL) 06-6473-0138
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	2026年12月２日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	36,512	10.1	1,129	184.1	1,222	139.6	906	136.0
2026年３月期中間期	33,178	△3.1	397	△1.5	510	△6.2	384	3.0

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,885百万円（ 292.2%）　2026年３月期中間期　480百万円（ 56.9%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	90.07	―
2026年３月期中間期	38.22	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	45,164	24,371	53.6
2026年３月期	42,415	22,824	53.4

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　24,198百万円　　2026年３月期　22,652百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	10.00	―	35.00	45.00
2027年３月期	―	15.00			
2027年３月期(予想)			―	40.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	8.4	1,800	42.7	2,000	19.0	2,000	11.2	198.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
業績予想の詳細につきましては、本日（2026年11月12日）公表いたしました「2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　ー　　、除外　　ー社（社名）　　ー

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	10,500,000株	2026年３月期	10,500,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	426,729株	2026年３月期	439,678株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	10,064,284株	2026年３月期中間期	10,049,244株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
（収益認識関係） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調がみられたものの、中東情勢に伴う原油価格や調達コストの高騰等により、先行き不透明な状況で推移しました。今後の国内外の景気動向は、引き続き中東情勢等の地政学リスクや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響が懸念されることから、先行き不透明な状況が継続すると推測されます。

当社グループはこのような状況のもと、「商材提供」型から「ワンストップソリューション提供」型へと提供価値を革新すべく、コーティング関連事業においては、培ってきた塗膜形成力を核（コア）とした機能拡大を図り、我々の新たな提供価値の創造を推進してまいりました。エレクトロニクス関連事業においては、我々の発揮する機能を、さらに付与し、拡大することに取り組んでまいりました。また、これらの事業を展開する上で、社会的責任を果たしながら、持続的な発展と成長を遂げるために、人的資本を充実させ、保有・調達する資源を、適切かつ効率良く活用することに努めてまいりました。

当社グループの当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は36,512百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は1,129百万円(前年同期比184.1%増)、経常利益は1,222百万円(前年同期比139.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は906百万円(前年同期比136.0%増)となりました。なお、当社及び当社の連結子会社であるユニ電子㈱は、両社が保有する持分法適用関連会社のMicware North America, Inc.及びMicware Asia Pacific Co., Ltd.の全株式の譲渡を2026年７月に完了し、特別利益190百万円を計上いたしました。

コーティング関連事業では、前中間連結会計期間と比較して完成工事高は減少しましたが、主たるお客様である自動車メーカーやその他産業向け販売製品のシェア拡大に加えて仕入価格の上昇について販売価格への転嫁が進んだこと、また中東情勢を受けたサプライチェーンの不確実性に対し、お客様が調達リスクの低減を図る中、適時かつ柔軟な供給対応を行ったこと等により増収増益となりました。

その結果、コーティング関連事業の売上高は24,760百万円(前年同期比7.0%増)、セグメント利益は1,500百万円(前年同期比51.6%増)となりました。

エレクトロニクス関連事業では、前中間連結会計期間と比較してカーナビゲーション向けソフトウエアの販売が増加したこと、車載向けセンサーやモーターコントローラのシェア拡大等により増収増益となりました。

その結果、エレクトロニクス関連事業の売上高は11,751百万円(前年同期比17.0%増)、セグメント利益は646百万円(前年同期比71.9%増)となりました。

（２）財政状態に関する説明

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末の25,292百万円に比べ1,119百万円(4.4%)増加し、26,412百万円となりました。その主な内訳は、電子記録債権が508百万円、売掛金が406百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末の17,123百万円に比べ1,629百万円(9.5%)増加し、18,752百万円となりました。その主な内訳は、投資有価証券が1,604百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末の15,907百万円に比べ650百万円(4.1%)増加し、16,558百万円となりました。その主な内訳は、短期借入金が797百万円、契約負債が364百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が459百万円減少したことによるものであります。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末の3,683百万円に比べ551百万円(15.0%)増加し、4,235百万円となりました。その主な内訳は、繰延税金負債が533百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末の22,824百万円に比べ1,546百万円(6.8%)増加し、24,371百万円となりました。その主な内訳は、その他有価証券評価差額金が979百万円、利益剰余金が554百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績の推移を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、2026年８月６日付「2027年３月期第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2027年３月期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日付で別途公表しております「2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,970	3,831
受取手形	194	85
売掛金	11,560	11,967
電子記録債権	3,442	3,950
棚卸資産	5,627	5,619
その他	499	961
貸倒引当金	△1	△4
流動資産合計	25,292	26,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,447	1,412
機械装置及び運搬具（純額）	141	134
工具、器具及び備品（純額）	83	82
土地	1,832	1,832
リース資産（純額）	81	97
建設仮勘定	－	23
有形固定資産合計	3,586	3,583
無形固定資産		
ソフトウエア	159	141
その他	43	46
無形固定資産合計	202	188
投資その他の資産		
投資有価証券	10,547	12,151
出資金	1,010	1,006
長期貸付金	36	35
退職給付に係る資産	1,225	1,240
繰延税金資産	162	193
その他	384	385
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	13,333	14,981
固定資産合計	17,123	18,752
資産合計	42,415	45,164

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,647	10,187
電子記録債務	367	180
短期借入金	2,239	3,037
1年内返済予定の長期借入金	900	900
未払法人税等	366	482
契約負債	52	416
賞与引当金	476	455
品質保証引当金	2	－
その他	855	899
流動負債合計	15,907	16,558
固定負債		
長期借入金	700	700
退職給付に係る負債	204	215
役員退職慰労引当金	80	85
繰延税金負債	2,584	3,117
資産除去債務	41	41
その他	71	75
固定負債合計	3,683	4,235
負債合計	19,591	20,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	857	857
資本剰余金	776	780
利益剰余金	15,672	16,227
自己株式	△328	△318
株主資本合計	16,978	17,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,082	6,062
繰延ヘッジ損益	△28	25
為替換算調整勘定	327	308
退職給付に係る調整累計額	291	255
その他の包括利益累計額合計	5,673	6,651
非支配株主持分	172	173
純資産合計	22,824	24,371
負債純資産合計	42,415	45,164

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	33,178	36,512
売上原価	28,885	31,388
売上総利益	4,292	5,124
販売費及び一般管理費	3,894	3,995
営業利益	397	1,129
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	159	175
持分法による投資利益	12	－
その他	39	30
営業外収益合計	217	211
営業外費用		
支払利息	15	31
持分法による投資損失	－	7
為替差損	73	44
貸倒引当金繰入額	0	－
支払手数料	－	15
投資事業組合運用損	－	3
その他	14	14
営業外費用合計	104	117
経常利益	510	1,222
特別利益		
関係会社株式売却益	－	190
子会社清算益	58	－
特別利益合計	58	190
特別損失		
固定資産除却損	－	0
特別損失合計	－	0
税金等調整前中間純利益	569	1,413
法人税、住民税及び事業税	131	461
法人税等調整額	56	43
法人税等合計	188	504
中間純利益	380	908
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△3	2
親会社株主に帰属する中間純利益	384	906

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	380	908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	278	979
繰延ヘッジ損益	△20	53
為替換算調整勘定	△130	△9
退職給付に係る調整額	△23	△36
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△11
その他の包括利益合計	100	976
中間包括利益	480	1,885
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	487	1,884
非支配株主に係る中間包括利益	△6	1

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	569	1,413
減価償却費	161	169
のれん償却額	2	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	2
賞与引当金の増減額（△は減少）	△34	△20
品質保証引当金の増減額（△は減少）	0	△2
退職給付に係る資産負債の増減額（△は減少）	△67	△57
長期未払金の増減額（△は減少）	1	△12
受取利息及び受取配当金	△165	△180
支払利息	15	31
持分法による投資損益（△は益）	△12	7
売上債権の増減額（△は増加）	2,511	△815
棚卸資産の増減額（△は増加）	734	2
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,148	△641
関係会社株式売却損益（△は益）	－	△190
子会社清算損益（△は益）	△58	－
その他	△691	89
小計	1,818	△203
利息及び配当金の受取額	163	180
利息の支払額	△15	△31
法人税等の支払額	△361	△392
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,605	△447
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△54	△381
関係会社株式の売却による収入	－	350
固定資産の取得による支出	△69	△118
短期貸付金の純増減額（△は増加）	4	25
長期貸付けによる支出	△3	△3
長期貸付金の回収による収入	12	2
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	121	797
リース債務の返済による支出	△27	△29
配当金の支払額	△351	△352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△257	415
現金及び現金同等物に係る換算差額	△64	17
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,172	△139
現金及び現金同等物の期首残高	6,545	3,970
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,717	3,831

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	コーティング関連事業	エレクトロニクス関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,131	10,046	33,178	－	33,178
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	507	522	△522	－
計	23,146	10,553	33,700	△522	33,178
セグメント利益	989	375	1,365	△967	397

（注）１．セグメント利益の調整額△967百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	コーティング関連事業	エレクトロニクス関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,760	11,751	36,512	－	36,512
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	629	633	△633	－
計	24,765	12,381	37,146	△633	36,512
セグメント利益	1,500	646	2,146	△1,017	1,129

（注）１．セグメント利益の調整額△1,017百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．当第１四半期連結累計期間より、組織体制の変更に伴い、「コーティング関連事業」に含めていた事業企画部は、本社部門に含めることとなったため、報告セグメントの集計対象から除外しております。また、これに伴い、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に組み替えて表示しております。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2025年４月１日 至 2025年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計
	コーティング関連事業	エレクトロニクス関連事業	
塗料・表面処理剤	13,430	－	13,430
化成品	4,593	－	4,593
機器	881	－	881
完成工事	1,629	－	1,629
その他	2,597	－	2,597
電気・電子部品	－	10,046	10,046
顧客との契約から生じる収益	23,131	10,046	33,178
外部顧客への売上高	23,131	10,046	33,178

当中間連結会計期間(自 2026年４月１日 至 2026年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計
	コーティング関連事業	エレクトロニクス関連事業	
塗料・表面処理剤	14,882	－	14,882
化成品	5,486	－	5,486
機器	873	－	873
完成工事	719	－	719
その他	2,798	－	2,798
電気・電子部品	－	11,751	11,751
顧客との契約から生じる収益	24,760	11,751	36,512
外部顧客への売上高	24,760	11,751	36,512